



TRAM SYSTEM

NEWS LETTER

Ver. 2015. 10

今月のコンテンツ



ITイベント

◎ ITイベント CeatecJapan 2015

・クラウドを利用した翻訳機がすごい



Facebook

◎ Facebookアプリ

・スマホのバッテリーが無駄に消費されている？



Windows10

◎ Windows10 アップグレード

・妻帯者は要注意？



遺伝子

◎ 遺伝子操作の最新技術「ゲノム編集」

・化学はいよいよ神の領域へ



年間収益トップランキング1位～10位まで
20代～30代の若者が占めているようです。

YouTubeに動画をアップロードすると、再生回数に応じて「YouTube パートナー収益」を受け取れることはご存知でしょうか。
俗に「ユーチューバー」と呼ばれてるそうですが、驚きなのはその年間収益です。
世界のトップランキング1位にもなるとなんと14億円にも上り、
主な投稿動画はゲームのプレイ動画だそうです。
何が儲かるかわかりませんね・・・。

◎ ITイベント CEATEC(シーテック) JAPAN 2015

クラウドを利用した翻訳機がすごい



アジア最大級の最先端IT・エレクトロニクス総合展であるCeatecJapan2015が今月10/7～10/10まで開催されました。各IT分野の最先端技術が展示されるのですが、中でも興味深かったのが「みらい翻訳」とよばれるもの。

「みらい翻訳」がダウンロードされているモバイル端末に話しかけると外国語に変換して音声と文字とで翻訳してくれます。

ここまでは特に物珍しい技術でもありませんし、これくらいならすでに市販で販売されてますよね。

面白いのが「言語」をシステムが認識した時点でクラウド上のデータベースを見に行き、膨大なデータから適した回答をチョイスし、外国語に翻訳した内容をそのまま日本語に翻訳し直すことによって自分が伝えたかった内容で間違いがないか確認できるようになることです。ビジネスシーンでは小さな言い間違いが大事になりかねませんから翻訳の精度向上は大歓迎ですね。

身近な商品を「クラウド」と「ビッグデータ」を結びつけた好例といえると思います。



私も昔、タイからきた留学生の子に「キサマ、バレンタインチョコはもらったか」と聞かれて目が点になったことがありました。「You」を「あなた」と変換したかったんですが、何故か「キサマ」に・・・。

◎ Facebookアプリ

スマホのバッテリーが無駄に消費されている？

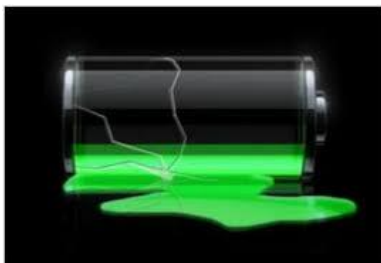
FacebookがiOS向けにリリースしているアプリが、バックグラウンド更新をオフに設定してもユーザーの意図に反して更新を続け、結果としてバッテリーを大量に消費していたことが判明しました。

そのからくりは、常に無音のサウンドを再生し続けることでアプリが稼働中の状態にするというものであり、システムの裏をかいだ「細工」ともとれるものであることが分かっています。



バックグラウンド

画面でいうと、アイコンや時計、ロック画面などが出ている後ろ側の画像(背景)をいいます。アプリの場合、今操作しているアプリやホーム画面には出ていないところで、別のアプリケーションが(裏で)動作しているものを差します。別なアプリを使っている、電話がなったり、メールが受信されていたり、アラームが鳴ったりするのは、バックグラウンドで別アプリが動作しているためです。



Facebookユーザーの1人がFacebookアプリのバッテリー使用率が異様に高いことに気付いたことから調査してみたところ、先述のような「細工」が見つかったとのこと。

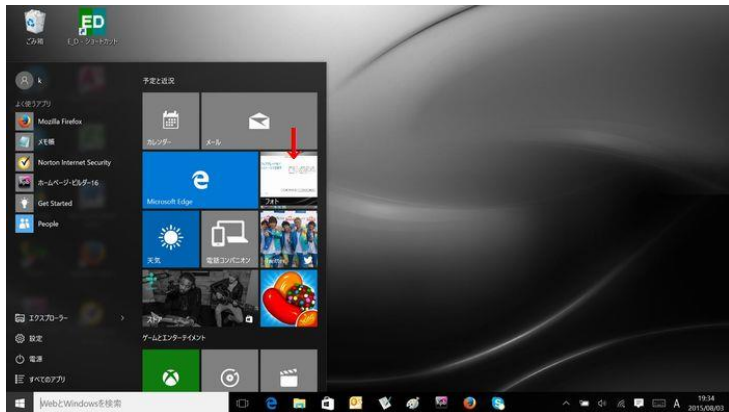
この調査では設定画面の「バックグラウンド更新」の項目でFacebookアプリを「OFF」にしていたのに、過去7日間のバッテリー消費量で全体の15%を占めていたそうです。

これらの指摘を受け、Facebookは修正版を「近いうち」にリリースすると発表しましたが、いつになるかはわかりません。

修正までの改善策としてはアプリを削除し、WEBブラウザからFacebookを利用するしかなさそうです。

© Windows10 アップグレード

妻帯者は要注意？



Windowsをお使いの方は、Windows10へ無償でアップグレードする旨、デスクトップ画面で何度か見ているかと思います。既にアップグレードされている方も少なくないかもしれませんね。

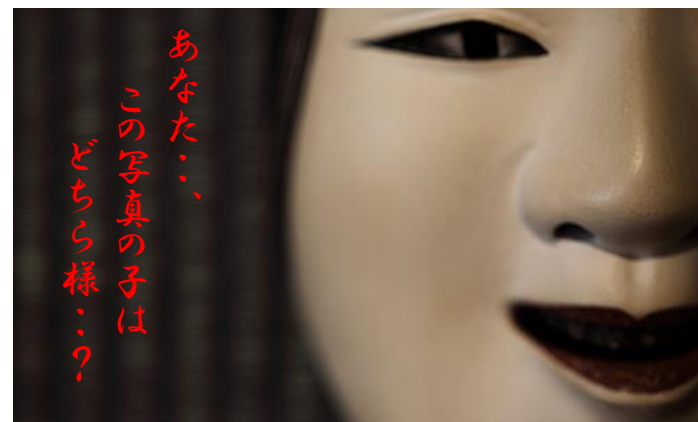
アップグレードするにあたり、1人の男性から世の紳士諸君に注意事項があるようなのでご紹介したいと思います。

この男性、自宅のPCをWindows10にアップグレードを済ませて寝ていたところ、奥様に「ポルノ画像がデスクトップに表示されているんだけど？」と叩き起こされたそうです。

Windows10にはログイン時に好みの画像をスライドショーで表示させる機能があります。

この男性は何を考えていたのか、エロ画像を「マイピクチャ」に保存するという、妻帯者とは思えない愚を犯していたようで、それらの画像がスライドショーで次々と奥様の目に…。

「とにかくマイピクチャにプライベートな画像は置くな」という教訓を、この男性は身をもって残しています。



クラウドに上げてあるはずの画像もスライドショーに表示されたとの報告もあります。
PCには保存してないからと油断は禁物です！

◎ 遺伝子操作の最新技術「ゲノム編集」

化学はいよいよ神の領域へ

生き物の設計図である遺伝子情報を、自由自在に設計できる「ゲノム編集」という技術が登場しています。
「ゲノム編集」によって、これまでの「遺伝子組み換え技術」とは段違いの精度と速度で遺伝子操作が可能となりました。



図3 食卓の遺伝子組換え食品
—日本で販売・流通が認可された6品種—



遺伝子組換え作物は、多様に加工されている

そもそも遺伝子操作がどこまで進歩してたのでしょうか。身近なところだと、左図の食品6品種が「遺伝子組み換え食品」として国が認可し、流通している食品になります。2012年の輸入量から見ますと、輸入したトウモロコシの総量の実に78%が「遺伝子組み換え食品」となっており、ダイズやナタネは90%を超えています。知らず知らず、私たちは既に遺伝子操作を受け入れている時代に身を置いてるわけですね。

◎ 遺伝子操作の最新技術「ゲノム編集」

化学はいよいよ神の領域へ



先述の6品種は第一世代組み換え食品と呼び、除草剤耐性、病虫害耐性、貯蔵性増大、などの生産者や流通業者にとっての利点を重視した遺伝子組換えが行われています。第二世代では栄養価を高めたり、有害物質を減少させたりと主に消費者向けに改良が加えられています。

ここまでは遺伝子組み換えですが、「ゲノム編集」ではすでに長期間ハリを保てる日持ちの良いトマトや、筋肉量が2倍で肉付きの良い肉牛などの開発に成功しています。

動物実験ではサルでも成功しており、サルで成功した技術は人間にも応用できる可能性が高いと考えられていますので、人間への遺伝子操作が科学技術的には秒読みの段階にきてるといえます。

まだ誰も人間への遺伝子操作を実施していないのは危険だからではなく、生命倫理観の観点から世界的に反対する人が多いからです。しかし、「自分が」「大事な人が」死病に掛かったとしてそれが治せると言われて、いつまで反対の声をあげ続けれるでしょうか。

理論的には、「ゲノム編集」によって全ての病気が治ると言われており、人間の脳を持った動物を作ることにも可能だと東京医科歯科大教授は発言しています。

SFの世界だと思っていた技術は、もうそんなに先の話ではありません。化学は着々とその世界に向かって歩を進めています。「賛成」か「反対」か、1人1人が真剣に考える時期に来ているように感じます。



トラムシステム株式会社

〒465-0063

愛知県名古屋市名東区新宿2丁目55番地

TEL:052-701-2634

FAX:052-701-2637

Mail : info@tramsystem.jp